

★ 東京ギンガ堂公演 ★

音楽劇
百年の絆

孫文と梅屋庄吉

ONE HUNDRED YEAR'S BOND

SONBUN & UMEYA SHOKICHI

脚本・演出: 品川能正



孫文

宋慶齡



梅屋庄吉

梅屋トク

2007年秋、日本中国10都市を巡演し、大好評を得た『孫文と梅屋庄吉』が音楽劇『百年の絆』となって還ってくる。中国の国父、孫文と日本最初の映画会社 日活の創始者、梅屋庄吉の命を賭けた30年の交流を歌と踊りにのせて描く。愛と涙と笑いの音楽劇!!

平成22年度文化庁芸術創造活動特別推進事業 後援 (V) 一般社団法人国際文化芸術交流 ICOSA

東京公演

紀伊國屋書店提携

SCHEDULE

2010年10月16日(土)~24日(日)

10/16(土) 17(日) 18(月) 19(火) 20(水) 21(木) 22(金) 23(土) 24(日)



※開場は開演の30分前 ※当日の受付は1時間前

TICKET

前売5,000円/当日5,500円 全席指定

チケットぴあ tel: 0570-02-9999 (Pコード407-070) <http://pia.jp/t>

e+ (イープラス) <http://eplus.jp/PC/> (携帯)

ファミリーマート [famiポート] → [チケット] → [e+] (店頭直接)

キノチケットカウンター 紀伊國屋書店本店5F (店頭販売のみ 10:00~18:30)

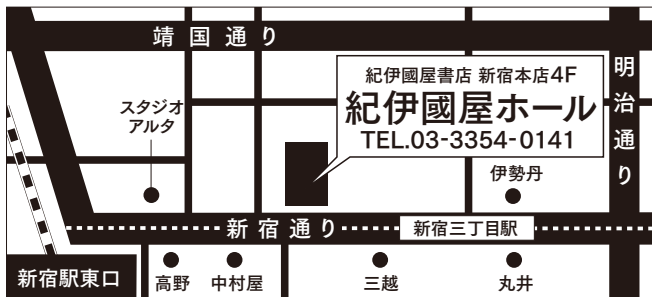
電話予約/お問合せ 東京ギンガ堂 tel: 03-3352-6361

<http://www.tokyo-gingado.com>

PLACE

紀伊國屋ホール (紀伊國屋書店 新宿本店4F)

東京都新宿区新宿3-17-7 tel: 03-3354-0141



JR「新宿」駅東口徒歩5分/

地下鉄丸の内線、都営新宿線「新宿三丁目」B7 B8出口スグ

CAST



山口嘉三(昂) 張春祥 米倉紀之子(昂) 王飛 大谷朗(円)



山本まなぶ 黒田瑚蘭 江森正明(昂) 高橋和久 由愛典子



家紋健大朗 山本悠生 舞山裕子(昂) 稲田琢 吉川哲矢

STAFF

音楽: 日高哲英 舞台美術: 加藤ちか 照明: 関 嘉明 音響: 今西 工 振付: 酒井美佳
衣裳: 大野典子 歌唱指導: 泉 里沙 写真: 宮内 勝 舞台監督: 岩崎健一郎
演出助手: 高橋 圭 画: 伊藤桂司 宣伝美術: 武田昌也 (Mo-Green)
協力: 小坂文乃、日比谷松本楼、劇団昂、エ・ネスト、俳小、ダウンゴ
クリエイティブスクール 制作: 木村優子 企画/制作: 東京ギンガ堂

PROFILE

品川能正 脚本家・演出家

“人間の理性と狂気を描く”作家として高い評価を得ている。2001年に日韓国際共同制作「火計り〜四百年の肖像」の脚本を手がけ(第46回岸田戯曲賞の最終候補作)、『04年は「KAZUKI」〜ここが私の地球」(脚本・演出)でアメリカ公演、『05年はソウル市劇団と国際共同制作「沈黙の海峡」(脚本・演出)(ソウル、東京、大阪他)を『06年は釜山市立劇団との国際共同制作音楽劇「くじら島」(釜山、ソウル、東京、地方公演)を『07年は日中共同制作「孫文と梅屋庄吉」(東京、北京、上海、南京、日本各地)で上演、『09年は「サムライ 高峰譲吉」アメリカ公演、日韓共同制作ミュージカル「ザ・サウンド・オブ・サイレンス」を日韓で上演するなど国際的に活躍している。また、毎年6月に歌舞伎町大久保公園の野外特設劇場で音楽劇を上演、大きな話題となっている。

前回公演「孫文と梅屋庄吉」(2007年10月~12月上演)劇評より

生き生きと描かれた登場人物の、奇遇で際どくて情の厚い出会いや交友などを通して伝わる、家族愛、友情、祖国愛などの「思い」こそがこの物語の主役となっている。異国での冒頭の2場面など、友情を生む2人の出会いがサスペンスに富み、量み込むような巧みな導入部である。生い立ちも活動背景も異なる庄吉が、私財を注いで孫文を援助し、映画に撮ったのは、東洋の革命ロマンをベースにした愛の行為であったと物語る。多彩な人物たちの革命を語るせりふが違和感なく響き、にぎやかに舞台が展開する。([テアトロ]1月号・2008年斎藤信子氏)

THEATRICAL PROJECT
東京ギンガ堂

東京ギンガ堂 〒160-0022 東京都新宿区新宿1-2-1-809 tel.03-3352-6361 fax.03-3352-6433

<http://www.tokyo-gingado.com>